

# J R 芸備線の利便性向上に資する 機能強化策

～ 3市の取組に係る検討状況～

三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会

### 駅利用の多い学生のための自習室の整備【三次駅】

駅利用の多い学生のため、駅舎の空きスペースに自習室を整備し、駅舎の利便性向上を図る。  
日中は一般利用者の待合室やコワーキングスペースとして、夕方は学生向けの自習室として活用する。



三次駅舎外観



活用を想定するスペースの現在の様子



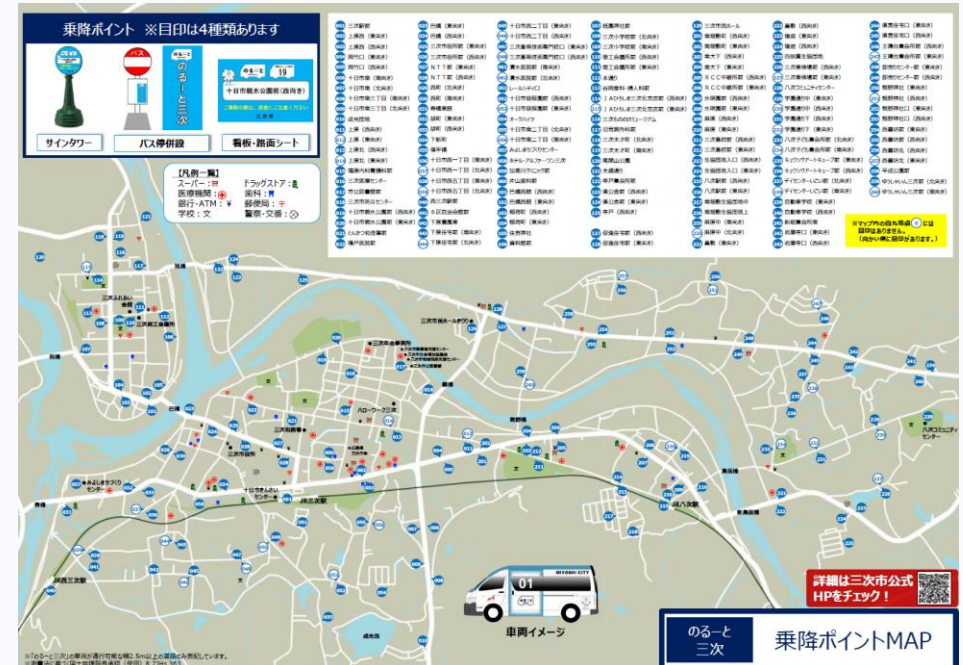
駅利用者の利便性が向上

### 三次市中心市街地にAIオンデマンドバス「のるーと三次」導入【西三次駅、三次駅、八次駅】

三次市中心市街地では市街地循環バスが運行されていたが、定時定路線且つ運行ルートが一方向であるため、待ち時間や乗車時間が長い、停留所までの距離が遠いといった課題があった。AIオンデマンドバスを導入することで、待ち時間や乗車時間の短縮、停留所までの移動負担の軽減を図ることにより、地域住民や観光客の移動利便性の向上に取り組んでいる。

〔実証運行期間 令和7年12月1日～令和8年3月31日〕

〔本格運行開始 令和8年4月1日～〕



JR駅とのアクセシビリティ向上により、沿線住民の利便性を向上

### 乗継拠点としての整備

- 二次交通(バス・デマンド交通)と鉄道との結節を強化する交通再編を進めている。
- しかし、二次交通の便数確保には限界があるため、一定の待ち時間が発生する。
- 快適に待ち時間を過ごせるように、待合施設を整備する。
- 待合設備だけでなく、人が集う施設とするため、民間提案制度等を活用し、飲食施設などの誘致も行っていきたい。

#### 待合施設の整備内容

- ・乗継情報表示サイネージ(バスロケーションシステムも導入)
- ・Wi-Fi



※設置イメージ

### 乗継拠点としての整備

- 二次交通（バス・デマンド交通）と鉄道との結節を強化する交通再編を進めている。
- しかし、二次交通の便数確保には限界があるため、一定の待ち時間が発生する。
- 快適に待ち時間を過ごせるように、待合施設を整備する。
- 待合設備だけでなく、人が集う施設とするため、民間提案制度等を活用し、飲食施設などの誘致も行っていきたい。

#### 待合施設の整備内容

- ・乗継情報表示サイネージ（バスロケーションシステムも導入）
- ・Wi-Fi



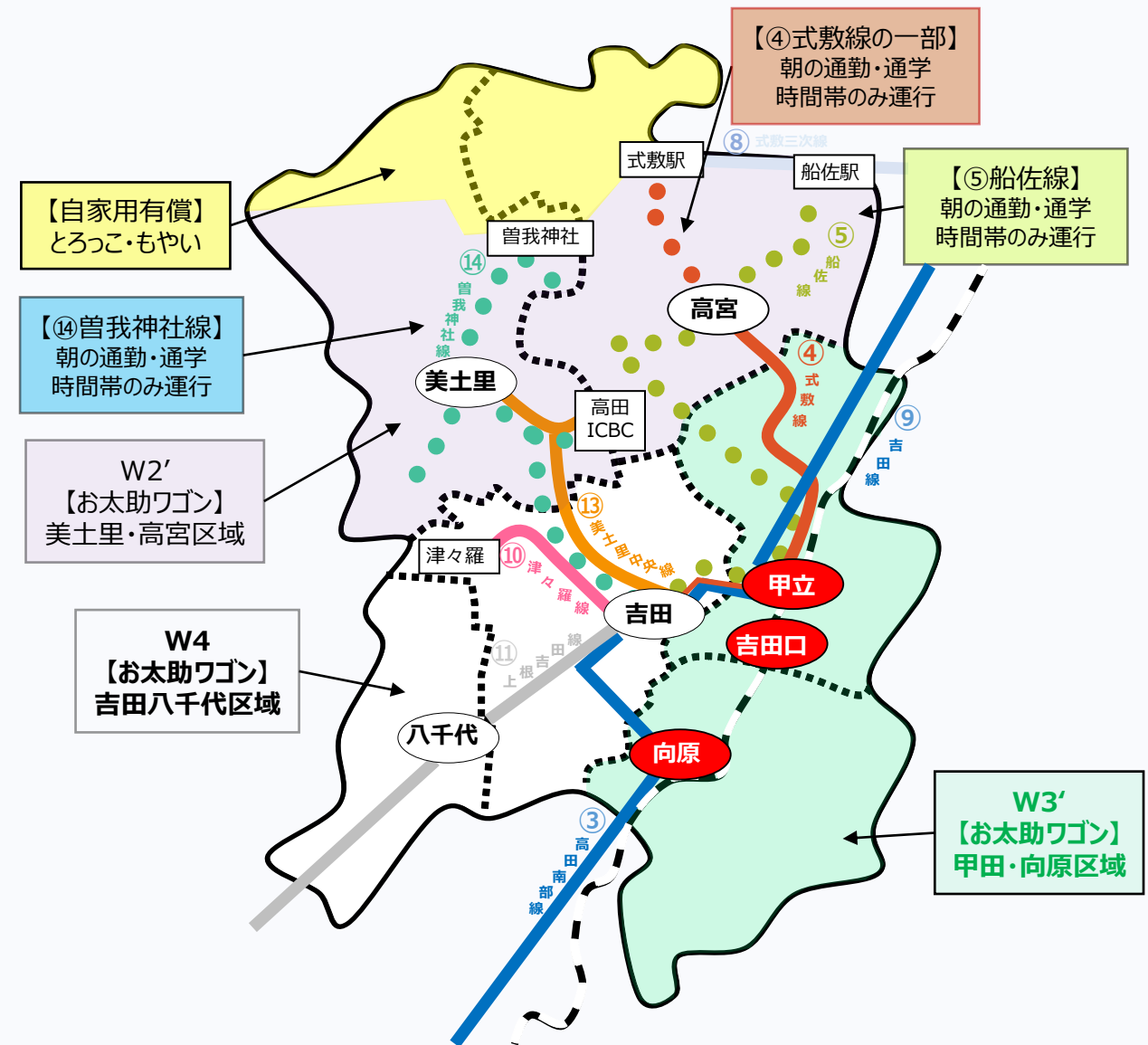
※設置イメージ

### Web予約・キャッシュレス決済の導入

○デマンド交通の利用には、事前登録・事前予約が必要だが、現在は紙による申込であるため、市外の登録者は極めて少ない。

○4月15日より、Web予約による実際の運行がスタート。予約申し込みが24時間いつでもペーパーレスで可能。観光客等を含め、より幅広い方にデマンド交通を活用いただくことを目指す。

○芸備線各駅に自動改札機の導入を働きかけ、市内の公共交通にもキャッシュレス決済を導入し、二次交通をスムーズに利用できるようにしていく。



### 地域団体事務所としての駅舎活用【志和口駅】

広島市に対して、令和7年2月に設立された広島型地域運営組織「ひろしまLMO(エルモ)」である「高南LMOつながり隊」(以下「高南LMO」という。)から、活動拠点として無人駅となっている志和口駅舎を活用したいとの要望があった。高南LMOは設立以降、事業計画の1つに「志和口駅活性化」を掲げ、駅周辺の美化活動や街歩きマップづくり、芸備線の利用促進などに取り組んでいる。このような取組を通じて駅を中心とした地域づくりがさらに推進されるよう、広島市と駅舎を所有するJR西日本で協議・調整を行った結果、本年4月より志和口駅舎に高南LMOの活動拠点を移転することが決まった。

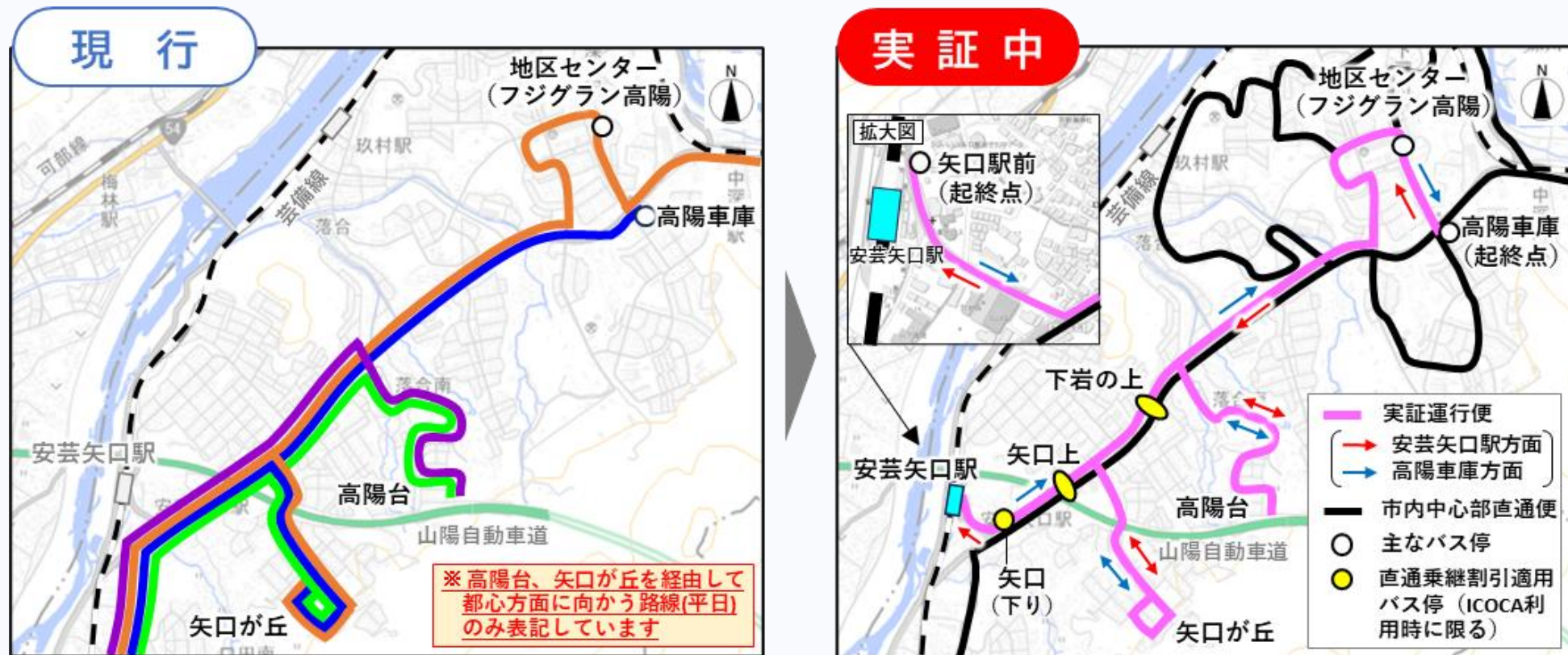


地域住民がいち早く駅を中心とした拠点づくりを実感

### 高陽地区の路線バス再編【安芸矢口駅 ほか】

広島交通とJRバス中国が運行する路線において、団地と市内中心部を結ぶ直通便の一部を、地区内のJR駅や大型商業施設などの生活拠点を結ぶフィーダー便に変更したうえで増便し、駅や生活拠点へのアクセス向上による移動需要の創出や事業者の運行効率化を目的として実証運行に取り組んだ。

〔実証運行期間 令和7年10月6日～令和7年12月30日〕

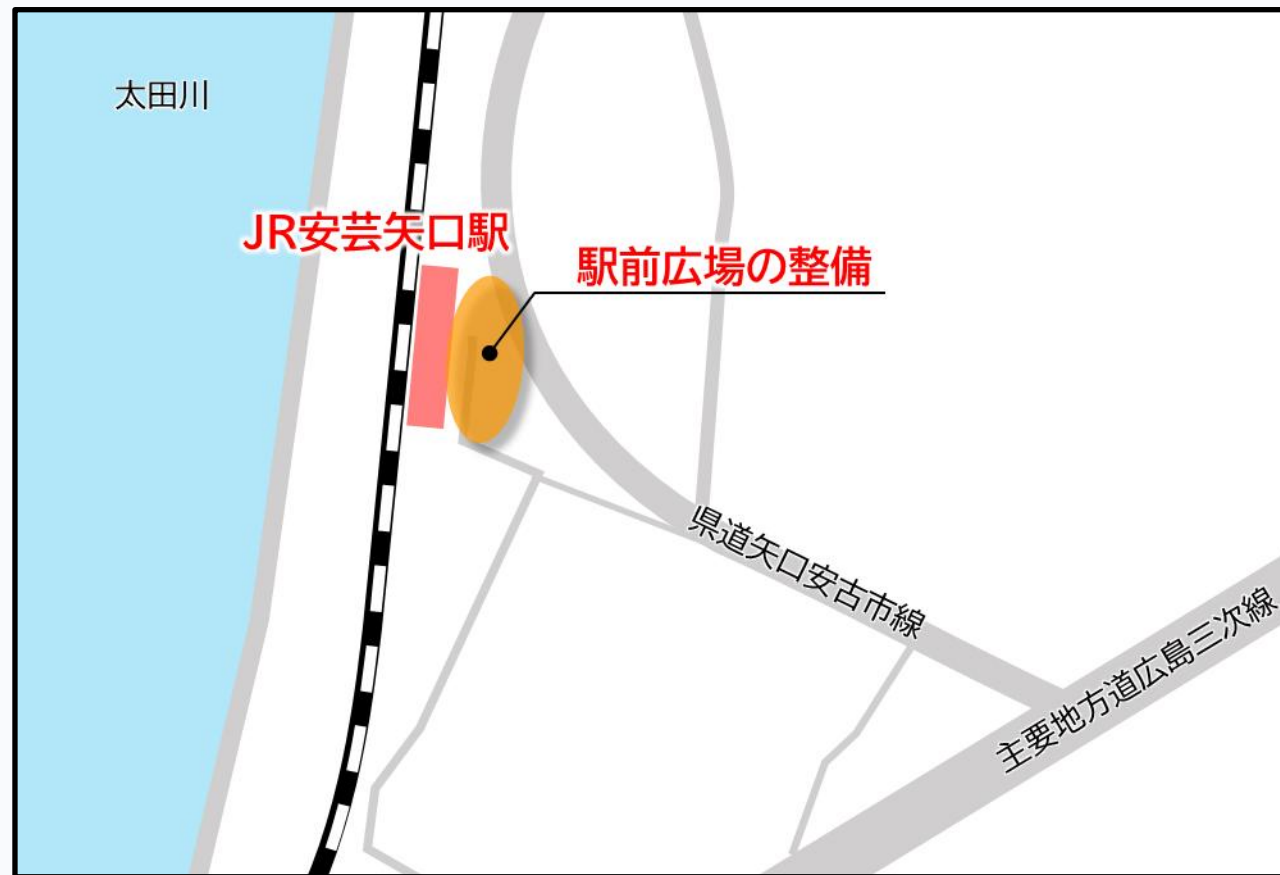


交通結節点とのアクセスを強化し、沿線住民の利便性を向上

### 安芸矢口駅の駅前広場整備【安芸矢口駅】

安芸矢口駅は芸備線の乗車人員が一番多い(広島駅を除く)にもかかわらず、駅前広場が無いため、交通結節点としての機能が十分ではない。このため、以前から駅前広場整備について地域から要望が提出されており、駅前までの道路拡幅(県道矢口安古市線)も完了したことから、現在駅前広場整備について検討しているところである。

広場内にバス乗り場、タクシー乗り場、送迎スペース等を盛り込んだ計画の検討を進めており、広場完成後は、駅周辺住民の利便性向上が期待される。



出典：国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）を基に作成

交通結節点の機能向上により、沿線住民の利便性を向上

### パーク&ライド駐車場整備

高陽エリア以南の幹線道路では道路混雑が問題となっているが、周辺は市街地となっていることから道路拡幅等は困難な状況である。

幹線道路の交通量減少に向けて、市内中心部へ向かう自動車を抑制するためには、芸備線をはじめとする公共交通への転換を促すことが有効であり、そのためには郊外部の芸備線沿線にパーク&ライド駐車場を整備することで、道路混雑解消が可能となる。

高陽エリアでは地元住民よりパーク&ライド駐車場の整備についても以前から要望されており、高陽エリアを中心にパーク&ライド駐車場整備の検討を行うことで、東区の道路混雑に係る課題解消が期待される。



マイカー利用から他の公共交通への転換を促進